

一般質問



徳田
議員

○学校跡地の活用について

質 田代小、大崎小の学校跡地活用について、進捗はどのようになっていますか。

政策企画課長 いずれも体育館を社会体育施設として活用することは決定しておりますが、跡地全体の方向性を集約するには至っておりません。
質 鷹島小学校の跡地活用はどうなりますか。鷹島小学校の中には、鷹島の市民にとって大切なものがあるが、保存の考えはどうか。

政策企画課長 学校施設の整備方針については、検討会が開催されております。記念碑、石膏像や記念樹などは、学校や地元関係者と十分に協議を行い、保存、移設等適切に判断いたします。

質 養源小学校についてはどうなりますか。早く取り組みをお願いしたい。

政策企画課長 これまで3回の協議会を開催するとともにアンケート調査も実施しております。これらの意見を参考に引き続き協議を進めます。
質 福島小学校については、昨年から取り組むようお願いしておりますがその後なかなか進まず、昨年末にやっと検討協議の場が設けられました。その協議で方向性が決まっ

ておりますが、その後の進捗状況はどうなっていますか。

政策企画課長 協議の結果、保育所機能としての活用と、これに公民館機能を合わせた支所としての方向性が集約されています。これを踏まえて今後その具体化の取り組みを進めてまいります。

質 保育園の移転建設も計画されているようですが、補助はできるだけ高率でお願いしたい。また、経営安定のために土地の無償貸与はできませんか。

子育てこども課長 土地については、民間へ移譲した保育所との取り扱いを考慮すると、一定期間を無償貸与としてもその満了後は購入して頂くこととなります。

○和牛1000頭増頭について

質 増頭推進後の頭数や価格は、近隣市町を含めどのような状況でしたか。また、どう評価していますか。

農林課長 5年間の計画期間に651頭の増頭が図られ、166頭の純増となっております。近隣自治体の頭数が平均17パーセント減少している中、本市は10パーセント増となっております。価格も2倍程度の高値となり、一定の事業効果が得られたと思います。

質 近隣市町が減少している中、本市は健闘している。再度、増頭推進に取り組む考えはございませんか。

市長 畜産農家の経営安定と所得向上の観点からも今後も引き続き制度設計を行い推進していきたい。

一般質問



白石
議員

○港湾施設の安全対策について

質 車が海に転落し死亡する事故が相次いで報道されている。市内の海岸における転落防止柵や車どめ等の安全施設設置はどのような状況か。

水産課長 市管理の漁港については、昨年度より順次車どめの設置を行っております。県管理の漁港、港湾については県へ要望してまいります。
質 御厨桟橋に常夜灯等が設置できないか。

水産課長 県の管理施設であるため、桟橋の利用者等の意見も整理検討し、県に要望したいと考えます。

質 水難事故が毎年起きています。遭難者は、すばやく救助すれば命が助かります。万一に備えて水難特別救助隊の養成が必要ではないか。

市長 必要だと思えます。必要な人員や資格、装備等について具体的な検討を進めてまいります。

○港の整備について

質 市民が、どこからでもお互いに海上からの往来や交流ができるように、港の整備をすべきだと思いますがいかがですか。

市長 海上のネットワークに関しては、現在の航路の維持と併せて市民

交流のための新たな航路の開設と維持存続が課題だと思います。将来的展望も視野に入れた検討をしていかなければならないと考えます。

質 海外炭輸入の松浦港、LPG基地の福島港、アジサバ水揚げ日本一の調川港、そして将来観光船の停泊が期待できる神崎港など市内の地方港湾を伊万里湾松浦港として重要港湾になるように、あらゆる手段を講じ県と国を動かす努力をされたらどうか。

市長 これまでも調川港を貿易港として指定が受けられないか、松浦港と統合できないかと取り組んだ経緯がありますが、国としては1自治体に2つの貿易港設置は困難と示しており、それぞれの機能拡充に向けて調査研究をしていきたいと考えます。
質 漁獲高低迷により漁船数、漁業経営者と従事者ともに減少している現状はどうか。

水産課長 登録漁船数は平成18年の894隻が26年には756隻に、漁業センサスによる漁業者数は15年の749名が25年には555名と減少しています。

質 松浦港開港当時からCIQ（税関、検疫、出入国管理）関連施設の設置要望がされてきましたが、その後の取り組みはどのようになっているか。

市長 CIQ機能設置には貨物の量や種類の確保が課題であり、港の整備と併せて検討する必要があります。